

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂 平成21年11月30日

化学物質等のコード : 1802-5726

化学物質等の名称 : 酸化ロジウム()

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 有害性物質
危険性 : 常温では全く安定のものである。
有害性 : 飲み込んだり、吸入したり、あるいは皮膚に触れると刺激があり、有害である。
環境影響 : データなし

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名 : 酸化ロジウム()
成分及び含有量 : 99%
化学式または構造式 : Rh₂O₃
分子量 : 253.81
官報公示整理番号(化審法) : 9-2434
構造別分類コード(労安法) : 公表
CAS No. : 12036-35-0
EINECS No. : 2348469

4.応急処置

目に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、眼科医の手当を受ける。
吸入した場合 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。口内と鼻腔を水で洗浄し、必要な場合は医師の診断を受ける。
皮膚にふれた場合 接触した身体部位を水で洗い流す。汚染した衣類類は洗い落としてから着用する。
飲み込んだ場合 大量の水を飲ませて速やかに吐かせる。必要な場合は医師の診断を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 (周辺火災の場合)
速やかに容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。
(着火した場合)
初期の火災には、大量注水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂等を用いる。大規模火災の際には、泡消火剤等を用いて空気を遮断することが有効である。
消火作業の際には必ず保護具を着用する。
消火剤 大量注水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡

6.漏出時の措置

- ・漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・作業の際は保護具を着用し、接触および粉塵の吸入を避ける。
- ・付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
- ・漏出源を遮断し、漏れを止める。
- ・河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- ・シャベルなどで、空容器に回収する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意

有毒で刺激性の物なので、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
粉塵を吸入しない。

取扱い後は手、顔などをよく洗う。

保管上の注意

密閉して直射日光を避け冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 設定されていない。

許容濃度 日本産業衛生学会：設定されていない。

ACGIH：設定されていない。

設備対策

・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。

保護具

防じんマスクを着用する。

必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観形状特性 灰黒色の粉末

溶解度 水、アルコール、酸に不溶。

分解温度 高温(1,150 以上)で酸素とロジウムに分解する。

10. 安定性及び反応性

引火点 引火性なし

可燃性 なし

安定性・反応性 常温においては安定である。

発火性 なし

自己反応性 なし

爆発性 なし

粉塵爆発性 なし

水との接触 危険性なし

空気との接触 危険性なし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

毒性

急性毒性(50%致死量等を含む)

LC50 / LD50 現在の所知見無し。

ロジウム塩はルテニウム塩より毒性が強く、中枢神経に影響を与える。

参考

三塩化ロジウム ネズミ 静脈注射致死量 LD50 100mg/kg

亜急性毒性 データなし

慢性毒性 データなし

刺激性(皮膚、眼) : 粉塵は、眼、鼻、喉、気管、気管支等の粘膜を刺激し炎症を起こすことがある。

感作性 : データなし

変異原性 : データなし

変異原性(微生物、染色体異常)
: 変異原性が認められた既存化学物質等(平成4年7月1日現在) 記載無し
塩化ロジウム、硝酸ロジウムは変異原性を示す。

皮膚腐蝕性 : データなし

がん原性 : 日本産業衛生学会(1999年度版) 記載無し
ACGIH(1999年度版)

ロジウム不溶性化合物 A4

A4 - ヒトに対する発ガン性と分類しかねる

物質又はプロセス - 現在のところヒトまたは
実験動物に対して発ガン性と分類するには証
拠となるデータがないか、あっても信頼性に
欠けるデータしかない物質またはプロセス

IARC(1999年度版) 記載無し

NTP(1985年度版) 記載無し

労働基準法による発ガン性物質 記載無し

生殖毒性 : データなし

催奇形性 : データなし

安全管理上の留意事項 : データなし

その他 : データなし

その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)

: データなし

12. 環境影響情報

分解性 : データなし

蓄積性 : データなし

魚毒性 : データなし
その他 :

13.廃棄上の注意

可燃性溶剤に溶解し、アフタバーナーおよびスクラッパー付きインシナレータ
ーの中で焼却。

14.輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無
いように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)
輸送に関する国際規制
陸上輸送 : 規制なし
海上輸送 : 規制なし
航空輸送 : 規制なし
国連分類 : 非該当
国連番号 : 非該当

15.適用法令

労働安全衛生法施行令等の一部改正
第18の2別表第9「名称等を通知すべき有害物」 631
化学物質管理促進法(PRTR法) : 非該当
消防法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
船舶安全法(危規則) : 非該当
航空法 : 非該当

16.その他の情報

参考文献
化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共同出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点においての知見によるものですがかならずしも十分で
はありませんので、取扱いには十分注意して下さい。